

1. 2019年度 事業計画

関係官庁及び諸団体と連携して、広島港とその周辺地域における貿易増進に関わる事業を行なうため、2019年度は次の諸施策を実施する。

【1】広島港の利用促進に関する活動

- ① 国内外ポートセールス活動
 - ・ 広島でのポートセミナーには関係行政、諸団体、及び㈱ひろしま港湾管理センターに協力し、県内外の荷主企業や船会社に対し情報を提供し広島港利用を働きかける。
 - ・ 東京でのポートセミナーは、「港湾研究会」にて再度検討する。
 - ・ 広友会(広島県,広島銀行)を利用し、海外ポートミッションに積極的に参画、荷主の新規開拓に向け広島港をPRする。
- ② 関係諸機関との連携強調
 - ・ 広島県、広島市との情報交換を密にしながら、広島港振興協会及び㈱ひろしま港湾管理センターの事業計画との連携をとり、広島港の貿易拡大、活性化を図る為の諸事業に協力する。

【2】広島港の港湾諸料金、及び港湾施設整備に関する活動

- ① 港湾管理者に対し、港湾諸料金に関する提言を行う。
- ② 広島県・広島市及び㈱ひろしま港湾管理センターに対し港湾施設整備に関する提言を行う為、港湾計画改訂検討会等へ継続的に協議を実施する。

【3】各種講演会、研修会等の参加・開催

- ① 関係する講演会、研修会、セミナー等へ積極的に参加。
- ② 会員による国内研修会及び海外研修会の企画と実施。

【4】港湾関係合同事業等の開催

- ① 広島港合同賀詞交歓会の開催。
- ② 当会顧問の方と意見交換会開催。(年1回の開催)
- ③ ㈱ひろしま港湾管理センターとの意見交換会開催。
- ④ 港湾関係団体合同カープ観戦ツアーの開催。

【5】広島港の振興および啓蒙活動

- ① 「港湾研究会」の継続。
- ② 「広島みなとフェスタ」への参画。
- ③ 広島みなと振興会ホームページの有効活用,情報発信。

【6】新規会員の勧誘

【7】広島みなと振興会の活性化

- ① 港湾研究会を更に有効的且つ、効率的に活用し、情報交換の場とする。
- ② 更に活性化を促進する為、規約、組織の在り方を見直す。